

地域包括支援センター名称	日時	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
やすらぎミラージュ	R1.7.24	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、陽和病院、介護サービス事業所等	31人	【テーマ】 認知症の相談窓口としての病院の機能について 【目的】 認知症の相談窓口としての病院の機能について、地域の関係者に伝え、考えていただく機会を提供する。	・「病院の実際を知ることができた」「お金の不安があってもまず相談だけでもしてみたい」などの意見があった。 ・地域住民の方々にとって精神科病院のイメージは決して良いものではないということが、以前から相談の中でも感じられていたが、今回の会議を通して地域の関係者に対し認知症の正しい理解を深める一助になった。
大泉北	R1.9.20	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、薬局、介護サービス事業所、総合福祉事務所、保健相談所等	45人	【テーマ】 「8050問題」について 【目的】 「8050問題」をテーマに、制度の現状や関係機関の相談状況の実状(事例等)について情報共有し、それぞれの立場で地域での支えあいについて意識を高める。	・テーマへの関心も高く、多くの参加希望が得られたが、一方では「初めて聞いた。」「これを聞いてどう対応したら良いかが分からない。」との意見も聞かれた。 また、「事例が衝撃的であった。」「自分と年齢の変わらない方々が問題の主になっていることに他人事ではないと痛感した。」などの意見があった。
大泉学園	R1.10.11	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、生活支援員、社会福祉協議会、介護サービス事業所、配食サービス事業所、東京ガス、消防署、住宅課等	39人	【テーマ】 高齢者の住まいについて 【目的】 高齢になって転居が必要になっても転居できない高齢者がいる地域課題について認識を共有し、解決策について検討する。併せて、地域ネットワークの構築を目指す。	・今年度上半期の地域ケア個別会議において、住環境や住み替えに関する課題が多かったことから、転居を支援するための行政施策と課題について理解を深め、各自の立場から支援できることや行政へ求めることを話し合った。 ・介護・福祉に直接関わる分野にとどまらず、住まいなど他領域の関係機関との交流を深めることができた。
南大泉	R1.8.2	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、ボランティア関係者、西東京市・新座市地域包括支援センター、介護サービス事業所等	45人	【テーマ】 認知症高齢者の見守りを考える ～徘徊する高齢者を地域でどう支えるか～ 【目的】 地域ネットワークの構築および認知症高齢者支援の情報共有・意見交換を図る。	・西東京市、新座市の地域包括支援センターにも参加していただき、それぞれの地域の認知症高齢者支援サービスについてお話をいただいた。 ・「他の地域の実情や取り組みを知れてよかった。視野が広がった。」 「地域の方々と語り合う機会となり、地域の一員として参加できた。」 「地域の方々と様々な職種が意見交換する場が必要」などの意見があった。
大泉	R1.10.10	民生委員、訪問支援協力員、介護サービス事業所、社会福祉協議会、保健相談所等	37人	【テーマ】 地域の8050問題を考える 【目的】 担当地域の地域課題を共有し、その解決に向けて地域の関係者と協議する。センター会議を通じて、地域包括ケアシステムのネットワークの構築を図る。	・参加者に「8050問題」について相談できる窓口を紹介したことで、地域の方々がその資源を活用できるようになった。 ・この会議をきっかけに、地域包括支援センターと社会福祉協議会、保健相談所とのさらなる連携が進んだ。 ・「8050問題」を通して地域の関係者と地域の課題を共有し解決方法について協議することで、地域包括ケアシステムの互いのネットワーク構築を促進することができた。